



「進学の熊西」熊谷西高等学校 進路主事だより



West (第23号)

2023.3.16. 平井 利久

「卒業、そして、新たな道へ」

ご卒業おめでとうございます。3月は、卒業式をはじめとして毎年慌ただしく日々が過ぎていきます。全国どこでも同じ情景です。最後の最後まで粘り抜き、自分自身の最高学力で有終の美を飾ることを期待します。また、希望通りの進路実現に至らなかったとしても、そこから次にどのような目標を定め、どのように取り組むかによって新たな未来が生まれてきます。熟考を重ね、判断を下し、決断後は実行に向けて勇往邁進するのみです。新たな道を切り拓いてください。皆さんの門出を教職員、関係者一同心から祝福します。

■ 高校3年間の学びから新たな舞台へ

皆さんは入学直後の一斉休校に始まり、来たる5月8日には感染症法上5類に引き下げられるコロナウイルスの感染期間とともに3年間を過ごしました。マスクの外せない3年間でした。人生の節目をこの時期に迎え、学校生活や就職活動などで不利益を被った若者を、SNS等では「コロナ世代」という言葉で象徴しています。常に何かしらの物理的・精神的な制約につきまとい、従前の高校生活が送れないことへの度重なる周囲からの同情や哀れみにも嫌気が差した人も少なくないでしょう。「高校時代は、コロナ一色でした。コロナの時に自分はいつだったか、どこで何をしていたか」というのは、これから後に、折に触れ、幾度も振り返ることになると思います。しかし、それでもその時を精いっぱい生きた青春は必ずあったと思います。マスク越しにも垣間見た表情から伝わるのが沢山あったでしょう。この3年間、コロナ禍にあっても本分である学業、クラス・行事などの特別活動、さらに制限の多かった課外活動などに、「英姿颯爽」の校訓の下で前向きに打ち込んだ皆さんの姿は、コロナ以前の西高生と変わることなく新たに本校の伝統へと加わります。その時々以最善の方法で対処してきた経験により、学習で得た多くの知識や思考力が知性や生きる力に変わり、計画性や柔軟性、さらに対応力や実践力に一層磨きがかかりました。これら全てが皆さんの中に蓄積され、大きな財産や教養となっています。今後の糧として自信を持ってそれぞれの新たな舞台へと進んでください。

■ 世界的視野と知性・教養で勝負を

この一年は成年年齢の18歳引き下げから始まり、皆さんが主権者として歩みはじめた年でもありました。責任ある主権者として、自分事として真剣に考え、理想を見失わずに次へ生かすことを今後も心に留めてください。その際に自己や人格を形成していく礎となるものは「教養」です。自分だけの価値観や判断軸のみに基づく単眼的な思考ではなく、固定観念や既成概念に縛られない自分を俯瞰する力、すなわち複眼的な思考が重要となります。自分は社会の中でどのような位置にいるのかということ、そういう自分は社会のために何ができるのかということ。この2つを知っている人、あるいは知ろうと努力している人が教養のある人です。これまで皆さんが学んだことが、入試や試験のためだけの勉強で終わるのではなく、自分自身や自分を取り巻く社会をより良くするために必要な真の教養へと昇華することを切に望みます。知性(教養)を働かせ、氾濫する情報を峻別し、考え抜き、バランス感覚を伴った最適な判断ができるように、今後も学びを継続し、世界のよりよい進路(針路)作りに寄与してください。「Society5.0」を見据え、皆さんの高い志、挑戦の意欲、新しい考え、未来志向の発想を大切にしてください。そして、日本や世界を支えるリーダーとして皆さんが活躍されることを心から祈っています。進路主事だよりもこれで卒業号となります。これまでお読みいただきありがとうございました。

★ 中期・後期・3月入試に挑んでいる生徒は、絶対に最後までやり抜くこと。

全生徒は全結果を必ず報告してください。(最終27日(月)まで)

→ それ以降は担任へ要連絡

最後の結果が出るまで妥協しないでください。特に、国公立後期発表まで諦めないこと。

国公立大の結果が出てから、よく考えて進路を選択して下さい。

◎ 浪人する生徒は、浪人決定フォームの入力もしてください。